

県民だより

1

2004
月号



県民の皆さま

あけましておめでとうございます

昨年十一月、足利銀行の一時国有化という衝撃的な事態が発生いたしました。

県といたしましては、この影響によって本県経済と県民生活に混乱を生じさせないよう、直ちに、庁内に金融危機対策本部を設置するとともに、国や日銀等に円滑な資金提供などの支援を要請したほか、相談窓口の設置や中小企業向け緊急セーフティネット資金の創設など、できる限りの対策を行ったところであります。

今後とも全力をあげて、本県経済と県民生活の安定に向けた取り組みを進めていく考えです。

さて、私たちを取り巻く社会は、少子高齢化や環境問題、国際化の進展など大きな転換期を迎えております。私は、こうした時こそ、長期的な視点に立った取り組みを進めることが重要と考え、昨年三月、「とちぎ将来構想」を策定しました。

「みまをみがく、絆をつなぐ、風をおこす」という三つの行動指針を掲げ、二十一世紀の「とちぎづくり」に歩みだしたところです。今年、この構想の実現に向け、県組織の見直しや次期総合計画の策定にも着手する考えです。

私は、こうした取り組みを「とちぎから創る二十一世紀の日本」という気概を持って、県民の皆さまとともに進めることで、「活力と美しさに満ちた郷土「とちぎ」を実現し、真に地方新生のさきがけとなる県づくりにつなげていきたいと考えております。

今年が皆さまにとって、幸多き一年となります。心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

平成十六年一月

栃木県知事 福田 昭夫



絵本作家 いわむらかずおさんと語る

とちぎの未来へ

新春にあたり、福田知事と絵本作家いわむらかずおさんに「とちぎの未来へ」をテーマにお話いただきました。進行役は白井佳子さんです。

子どもたちには自然にふれながら自分をみがいてほしい

白井 新春知事対談、テーマは新年のスタートにふさわしく「とちぎの未来へ」です。どうぞよろしくお願いいたします。

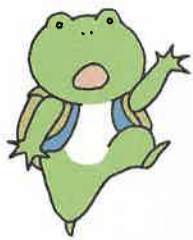
いわむら・知事 よろしくお願ひします。

白井 知事は、いわむらかずおさんの絵本を読んでこられたそうですが、絵本を読まれるのは久しぶりだったのでは。

知事 私が子育てをした頃は、残念ながら、いわむらかずおさんの本を読むことができませんでした。読んで聞かせたことを思い出しましたね。

白井 お子さんと絵本を一緒に読むというのは本当にいい光景ですよ。

知事 何といっても父親が、ひとりで絵本を読んで聞かせてほしいと、私はお勧めしていませんよ。



白井 さて、知事と絵本の丘を歩かせていただいたんですが、本当に素晴らしい風景でした。いわむらかずおさんがこちらに美術館を建てたのも、まず風景に心を動かされたということだと思います。

いわむら 東京に生まれ育ったんですが、まだまだ雑木林が、田んぼがあり、畑があるところだったんです。雑木林の中で遊び、畑へ入ってよく怒られたりしました。三十過ぎたとき、雑木林が私にとっての原風景だということに気づきはじめ、すごく絵本のイメージがわいてきて、それを雑木林の中で暮らしながら描きたいと思いついたわけなんです。ですから、栃木県に私を呼んでくれたのは、雑木林と聞いてもいいぐらいですね。そして美術館を建てるときも、「雑木林の中に建てたい」なんてことを考えたんです。

知事 ありますね。子どもは遊びの天才ですから、どこでも遊べるんですよ。私も、山ではチャンバラ遊びをやりました。刀を作って斬り合うんです。「顔だけは斬っちゃだめ」とか、そういうルールを作っていました。川では水遊びや魚取



いわむらかずおさん
東京都生まれ、1975年益子町に移住。代表作品に「14ひき」シリーズほか。その作品は、海外で広く翻訳され世界の子供たちに親しまれている。1998年馬頭町に「いわむらかずお絵本の丘美術館」を開館。とちぎ特使。

りをしたり。自然と遊ぶという事は、子どもなりにいるんな工夫をします。ですから、創造力がものすごく育つと思うんです。

白井 学ぶということは、教室の中だけじゃないってことでしょうか。

いわむら そうですね。遊びながら、いろんな生き物たちと出会うとか、とにかく命に出会うということがすごく大きな意味を持っていると、今になって思っています。子どもの時にはそんなことを考えませんけど(笑)。

知事 エルにふれあうこと、命の大切さとかを、だんだん学んでいくようになると思うんです。栃木県にはたくさん自然がありますから、その中で遊びを通して、子どもたちには自らをみがいてほしいなと思っています。

白井 いわむらかずおさん、こちらの美術館を建てるにあたって、地元の方の大変なご協力があったと思うのですが。

いわむら いろんな場所を探頭町の人たちから「せひうちの町で」と言っていたので。最初は図書館のボランティア活動をされている方たちだったんですが、やがてもう、町が本場に一体になって。これも「馬頭で一番いいとこだ」と紹介してくれた場所なんです。

知事 すごいですね。きつと一人で美術館をつくるというのは大変なことだと思うんですが、そこには地域の人が連帯して、たくさ

んな人が応援してくれて



●いわむらかずお絵本の丘美術館

豊かな自然のなかにたたずむ美術館。いわむらかずおさんの原画やスケッチを展示しています。周辺には絵本の世界そのままの雑木林や農場が広がり、農業体験イベントなども開催されています。

馬頭町小砂3097 ☎0287-92-5514

ひとくちメモ

●自然公園大会ポスター&シンボルキャラクター

今年の夏、本県で開催される「第46回自然公園大会」。そのポスターとシンボルキャラクターをいわむらかずおさんに制作していただきました。



会場となる塩原の山をバックに、野道をさまざまな生き物たちが歩いています。栃木から全国へいのちの大切さを発信。



シンボルキャラクターは、「かんがえるカエルくん」のカエルくん。リュックサックを背負って、みなさんと一緒に自然公園大会へでかけたところです。



TOCHIGI MUSEUM

とちぎ美術館さんぽ

県内には個性豊かな美術館が数多くあり、さまざまな作品を展示しています。その中から、公立の美術館をご紹介します。企画展もおこなっていますので、ぜひお出かけください。なお、企画展は別途料金が必要な場合があります。

宇都宮美術館
宇都宮市長岡町1077
☎028-643-0100



近代絵画や創作版画をはじめ、世界や日本の作家の作品を数多く展示。豊かな自然の中で、ワークショップや自然観察会なども開催。

- 開館時間 午前9時30分～午後5時(休)月曜
- 入館料 大人310円、大学・高校生210円、小・中学生100円
- 企画展 矢口洋展
—絵のことは、絵をもって語れ—
3月14日(日)まで

川上澄生美術館
鹿沼市睦町287-14
☎0289-62-8272



木版画の詩人・川上澄生の作品を展示。川上澄生の作品から抜け出したような時計台のある洋館が目印です。

- 開館時間 午前9時～午後5時(休)月曜
- 入館料 大人300円、大学・高校生200円、小・中学生100円
- 企画展 川上澄生「名作あ・ら・かると」
—これらによってまずは
川上澄生のすべてを知る—
3月28日(日)まで

**小杉放菴記念
日光美術館**
日光市山内2388-3
☎0288-50-1200



日光出身の画家・小杉放菴や近代日光の文化などを紹介しています。エントランスホールでは季節ごとにミュージアムコンサートも。

- 開館時間 午前9時30分～午後5時(休)月曜
- 入館料 大人700円、大学・高校生500円、小・中学生300円

**とちぎ蔵の街
美術館**
栃木市万町3-23
☎0282-20-8228



“蔵の街とちぎ”にふさわしい土蔵の美術館です。江戸時代に建てられた市指定文化財の善野家土蔵を改修し、現代に甦らせました。

- 開館時間 午前9時～午後5時(休)月曜
- 入館料 大人300円、小・中学生100円
- 企画展 収蔵品展「自然へのまなざし」
3月21日(日)まで

馬頭町広重美術館
馬頭町馬頭116-9
☎0287-92-1199



日本が世界に誇る芸術、浮世絵。江戸後期の浮世絵師・歌川広重の肉筆画などの収集で知られる「青木コレクション」を中心に展示。

- 開館時間 午前9時30分～午後5時(休)月曜
- 入館料 大人500円、大学・高校生300円、小・中学生100円
- 企画展 「東海道に見る旅の風景展」
2月1日(日)まで

ミュージアム氏家
氏家町氏家1297
☎028-682-7123



氏家町出身の仏画家・荒井寛方の作品や歴史資料を展示しています。勝山城跡の一角にあり、日光・那須の山並みも一望できます。

- 開館時間 午前9時～午後5時(休)月曜
- 入館料 大人300円、大学・高校生200円、小・中学生100円
- 企画展 第8回栃木日展作家展、作家たちの年賀状展
2月22日(日)まで

足利市立美術館
足利市通2-14-7
☎0284-43-3131



年5回の企画展とともに、足利や両毛地域ゆかりの作家の作品を中心に展示。近くには田崎草雲の遺作、遺品を集めた草雲美術館もあります。

- 開館時間 午前10時～午後6時(休)月曜
- 入館料 大人310円、高校生210円
- 企画展 ヴィルヘルム・レームブルック展
2月15日(日)まで

**葛生町立
吉澤記念美術館**
葛生町中央東1-14-30
☎0283-86-2008



地元の旧家・吉澤家から寄贈された美術コレクションを展示。地域に受け継がれた美術作品を広く紹介しています。

- 開館時間 午前9時30分～午後5時(休)月曜
- 入館料 大人500円、大学・高校生300円、小・中学生100円
- 企画展 古典へのまなざし
—近代日本画、近現代の陶芸から—
1月25日(日)まで



栃木県知事 福田昭夫

白井 ここでは農業体験もなさっているとか。
いわむら 「美術館に農場があるのはなぜだ」と思われますけれど(笑)。命の営みの中心にあるのが、食べるということなんです。その食の中心にあるのが農業で、その農業を子どもたちがちゃんと見て、農作物がどういうふうな育てられているのか実際に体験していただくのがすごく大事だと思うんです。畑のイベントと田んぼのイベントとがありまして、それもここで農業を営んでいる方

が先生になって、一緒に活動してくださっているんです。九十歳になられるおばあちゃんが、田植唄をうたってくれているんですよ。それがまたすてきなんです。子どもたちみんなに、そういう体験をさせてあげたいですね。
知事 県としても、県内の全部の小学校に学校農園をつくって、子どもたちに農業体験をしてみたいと考えています。農業体験をして、作物ができる喜びとか苦労とかを味わったり、あるいは命の大切さを学んでもらおうと。



知事 そうですね。子どもたちが地域の人たちに支えられて、また地域の人たちも元気が出てくるような、そんな体験学習ができるといいですね。
いわむら 学校農園をやるのと同時に、その周辺の農家の人たちとのつながりが生まれてくるといいなと思います。作っているものを食べてもらったり、自分の畑を見てもうというところで、子どもたちだけじゃなく農業をやっている方たちもすごく元気が出てくるんです。お互いに、素晴らしい出会いになってるんですね。

知事 これは、国際化は、グローバル化の時代にどんどん進んでいくと思うんです。そういう

知事 は、国際化は、グローバル化の時代にどんどん進んでいくと思うんです。そういう



白井佳子(うすいよしこ)さん
フリーアナウンサーとして多方面に活躍中。宇都宮市出身。

知事 そうですね。子どもたちが地域の人たちに支えられて、また地域の人たちも元気が出てくるような、そんな体験学習ができるといいですね。
いわむら 学校農園をやるのと同時に、その周辺の農家の人たちとのつながりが生まれてくるといいなと思います。作っているものを食べてもらったり、自分の畑を見てもうというところで、子どもたちだけじゃなく農業をやっている方たちもすごく元気が出てくるんです。お互いに、素晴らしい出会いになってるんですね。

**一人ひとりに
それぞれの良さ
生かしながら
創造の風を**
白井 いわむらさんの絵本は、十中の子どもの心に読まれていますが、先日お出かけになったフランスでは、「考えるカエルくん」が大評判だったとか。
いわむら サイン会に小さな父さんお母さん、年配の人たちまで並んでくれて。日本人だけじゃなくフランス人だって、やっぱり面白いものは面白いんだ。みんなつながっているんだという感じが本当に強く感じられたとでもうれしかったですね。

知事 これからは、国際化は、グローバル化の時代にどんどん進んでいくと思うんです。そういう

白井 最後に対談のテーマ「とちぎの未来へ」ということですが、何が大切でしょうか。
いわむら 一つは、とちぎは首も大変豊かな自然がある。この豊かな自然からたくさんの方々が学んでいくということがとても大事なことだと思っております。で、「かんがえるカエルくん」のように、やっぱり自分の頭で考えて、そして自分で発見していく、そういうことがとても大事なことなんじゃないかと思えます。

白井 今日本当にありがとうございました。
いわむら ありがとうございます。この対談は、県広報番組の内容を要約したものです。

知事 自然を含めてわれわれ人間も、全てのものは、それぞれにいいところがあるんです。そのいいところを生かして、努力していいこと、いいことだと思えます。

知事 自然を含めてわれわれ人間も、全てのものは、それぞれにいいところがあるんです。そのいいところを生かして、努力していいこと、いいことだと思えます。



花歳時記

赤いネオンを灯したような実は食用になります。トロツとしていて甘いのですが、食べ過ぎるとお腹をこわすそうです。木材としては年輪が詰まってツヤがあり、彫り物などに用いられます。

ウォッチングポイント

庭木としてよく植えられているので、公園などで観察できます。日光市と栗山村のシンボルツリーにもなっています。

自然とふれあう

とちぎ花センター「早春の花展」

●春の華やかな鉢花を展示。新春のすがすがしい雰囲気をお楽しみください
●2月1日(日)まで
●観賞大温室入館料 大人 420円
こども210円
とちぎ花センター ☎0282-55-5775

日光自然博物館の催し

◎はじめてのクロスカントリースキー
●自然解説員と奥日光の森を楽しもう。クロスカントリー初心者向き
●2月15日(日)
●定員 15名(小学3年生以上)
●参加費 大人500円、こども250円 ※スキーレンタル料別途
●申込締切 1月31日(土)必着
日光自然博物館 ☎0288-55-0880

高原山少年自然の家催し

◎ネイチャリング in 高原山
●冬の高原山をかんじきをはいてハイキング。雪上に残る動物たちの足跡や、冬芽などを観察しましょう
●2月21日(土)午前9時30分～午後2時
●定員 先着20名
●参加費 150円
高原山少年自然の家 ☎0287-44-1581

とちぎ海浜自然の家催し

◎親子凧作り教室
●早春の海で手作りの凧揚げを家族で楽しみましょう
●3月13日(土)～14日(日)1泊2日
●定員 50名程度
●参加費 幼児2,300円～大人6,200円 ※3歳未満は300円
とちぎ海浜自然の家 ☎0291-37-4004

文化情報 子ども総合科学館

宇都宮市西川田町567 ☎028-659-5555 月・第4木曜

●科学館プレタイム 毎週土曜日 ◎1月「カガクカン・デカ・カルタ2」◎2月「まめまめ玉入れ」 ●屋外で元気に遊ぼう
●星をみる会 1月31日(土)午後7時～ ●オリオン座をさがそう
●バラエティサイエンス 1月24日(土)・25日(日)①午前10時30分②午後1時30分③午後3時 ●簡単にできる工作をやってみよう
●科学工作教室「からくりパタパタを作ろう」◎2月1日(日)午後1時～ ●昔から伝わる不思議なおもちゃを作ります ●先着30名(小学4年生以上) ●電話申込み
●おもしろ科学ゼミナール 2月11日(水)午後1時～ ●不思議で面白い科学の問題にチャレンジしよう ●先着150名(小学3年～中学生) ●電話申込み

文化情報 県立美術館

宇都宮市桜4-2-7 ☎028-621-3566 月曜日

●ディスタンス―栃木県出身作家の現在― ◎1月31日(土)～3月21日(日) ●栃木県出身、あるいはかつて在住し現在は県外で活躍する栃木県関係の美術作家の近作49点を、平面・立体・工芸の3分野にわたり紹介します
柄澤 貢「雷神」2003年 撮影 内田芳隆

文化情報 県立博物館

宇都宮市陸町2-2 ☎028-634-1312 月曜日

●「冬を描く」 「観光と余暇」など4つのテーマ展を開催中
●おじいさんやおばあさんの民話語り ●毎週土曜午後1時15分～45分 語り部(下野民話の会)が民話の世界へいざないます(要観覧料) ●定員 各回30名
●3月まで開催
●体験学習「節分のお面を作る」 ◎1月25日(日)午前11時～正午 ●定員30名(小・中学生) ●参加無料 ●当日直接会場へ

文化情報 県総合文化センター

宇都宮市本町1-8 ☎028-643-1010

●小松原庸子プロデュース セヴィリヤ・フラメンコ舞踏団「ベスト・フラメンコ」 ◎2月7日(土)午後4時開演 ●フラメンコの名曲を集めてお贈りする名場面集 ●好評発売中
●NHK宇都宮放送局FM公開録音ピアノコンクール入賞者演奏会&プロの演奏家によるピアノリサイタル ◎2月14日(土)午後3時開演 ●整理券受付中 ●詳しくはお問い合わせください

栃木県のお知らせ

身体障害者用駐車場 身体障害者用トイレ

募集

栃木県行政改革推進委員会委員の募集
●本県の行政改革の取組に対しご意見をいただく委員を公募します ●募集人数 5名以内
●応募資格 県内に在住・通勤・通学する満20歳～70歳(4月1日現在)の方 ●応募方法 次の書類を郵送・FAX・Eメールで①住所・氏名・生年月日・年齢・性別・職業(県外在住の方は通勤・通学先の所在地)・連絡先電話番号を記載したもの②作文「行政改革～私は今後どのように取り組むべきか(規制改革または外部委託についての意見や提言を含めてください)」(800字程度) ●応募締切 2月12日(木)
◎あて先・問合せ 県行政システム改革室(〒320-8501 ※住所不要) ☎028-623-2225(FAX)028-623-2228 [E]gyokaku@pref.tochigi.jp

地球温暖化防止啓発演劇「ちきゅうがおねつだ!」を鑑賞しませんか
●小さなお子さん向けの創作紙芝居コンクールの最優秀作品を演劇に上演します
◎公演日時・会場 ①2月21日(土)午後2時30分～県総合文化センター(宇都宮市)②2月28日(土)午後2時30分～那須野が原ハーモニーホール(大田原市)③3月20日(土)午後1時30分～小山市立文化センター ●参加無料 ●応募締切 ①②は1月30日(金)、③は2月27日(金) ●応募方法など詳細は問合せを
県環境政策課 ☎028-623-3187

とちぎフレッシュメイトを募集します
●とちぎ県産農産物のキャンペーンやイベント(1年間約30回)に協力いただける明るいつスタッフを募集します ●応募資格 県内に住む18歳以上の方(高校生を除く) ●募集人数 2名 ●応募方法履歴書と全身及び顔写真を郵送 ●応募締切 2月23日(月) ●とちぎ農産物マーケティング協会(宇都宮市本町12-11) ☎028-626-2150

電気通信サービスモニターの募集

●総務省では、電話・インターネットなどの電気通信サービスへのご意見・ご要望をうかがうモニターを募集しています ●募集人数 150名 ●応募資格 満20歳以上の方で関東地区にお住まいの方 ●活動内容 アンケートや会議への出席 ●活動期間 4月1日から1年 ●応募締切 2月20日(金) ●応募方法など詳細は問合せを 関東総合通信局電気通信事業課 ☎03-3243-8718

催し・案内

出会い、ふれあいの集い
●身体障害者の方が広く交際の機会が得られるよう交流会を開催します ◎3月21日(日)午前9時30分～午後3時 ●とちぎ福祉プラザ(宇都宮市) ●対象 県内に住む方で結婚を希望される方(障害者・健常者は問いません) ●参加無料 ●定員 先着30名 ●申込み 2月14日(土)までに電話・FAXで(受付時間は土・日・水曜の午前10時～午後3時)
栃木県身体障害者総合相談所 ☎FAX028-623-6353

不動産取引セミナー「失敗しないマイホームの購入について」

●1月28日(水)午後1時30分～4時 ●県総合文化センター(宇都宮市) ●参加無料 ●事前に電話で申込みを
県住宅課 ☎028-623-2488

住宅ローン返済でお困りの方へ

◎「個人版民事再生手続」をご存じですか
●住宅ローン以外の借入が原因で住宅ローンの返済が困難になった方の債務整理を、マイホームを手放すことなく行うものです
◎個人版民事再生手続に関する説明会
●2月1日(日)午後2時～4時30分 ●栃木会館小ホール(宇都宮市) ●参加無料 ●電話申込み
住宅金融公庫北関東支店 ☎027-232-6665

「はたちの記念」に献血へ行こう!

◎1・2月は「はたちの献血」キャンペーン月間
●冬から春先にかけては、年間で最も輸血用血液が不足しがちな季節です ●新成人の皆さん、400ml献血・成分献血にぜひご協力ください ●皆さんのあたたかいご協力をお待ちしています ●県業務課 ☎028-623-3119

健康のために何かしていますか?

とちぎ健康づくりセンターをご利用ください!
◎健康度測定 負荷心電図検査など医学的検査や体力測定を行い、一人ひとりの健康状態に応じた健康づくりをアドバイスします ●毎週月～金曜に実施 ●受検料 12,000円
◎体力測定 自転車エルゴメーターや閉眼片足立ちなど ●毎週火～土曜に実施(日によって異なります) ●受検料 1,000円 ●とちぎ健康の森健康づくりセンター ☎028-623-5555

公的個人認証サービスが始まります

●公的個人認証サービスとは、インターネットを利用し行政機関等へ各種申請を行う際に必要な電子証明書を発行する制度です。1月29日(木)を目途にスタート予定 ●電子証明書は、お住まいの市町村窓口で希望者に発行されます ●発行手数料は3月末日まで無料、4月からは500円(予定)です ●なお、発行申請時には住民基本台帳カードと顔写真入り身分証明書等が必要です ●県情報政策課 ☎028-623-2212



7 information とちぎテレビ 県の広報番組

クローズアップとちぎ ●毎週日曜 9:00～9:30
(再)月曜22:00～22:30
1月18日 文化財を守り、活かす
25日 平成15年の交通事故発生状況
2月1日 心のルネッサンス
8日 林業センター
15日 父親の育児参加
なるほど!とちぎ ●毎週土曜 9:00～9:45
(再)日曜20:00～20:45
1月17日 万全ですか!我が家の震災対策
24日 わん!ダブルコミュニケーション
31日 技を伝える～とちぎマイスター
2月7日 自分らしく生きる～男女共同参画社会
14日 北関東自動車道
とちぎ教育新事情 ●毎週土曜17:30～17:50
(再)月曜12:10～12:30
1月17日 確かな学力の向上を目指して
24日 栄養のバランスを考えよう
31日 響き合うリズムに触れ合う心～スクールアート推進事業～
2月7日 むかし再発見
14日 訪ねてみよう!とちぎの文化財～足利市編～

タテのカギ

①船を安全に誘導してくれます。〇〇〇〇案内人
③県の広報番組のひとつです。「〇〇〇!とちぎ」
④海へ続く道「北関東自動車道」。完成すれば、県都から〇〇〇〇港を約1時間で結びます
⑤漢字の読み方は2つ。音よみと〇〇よみ

ヨコのカギ

②「とちぎ将来構想」の行動指針のひとつです。〇〇〇をつなぐ
③今年の干支。バナナが好物?
④これがしっかりしてるから、応用もきくんだね!
⑤栃木の方ではウソのことをこんなふうにいいます。「〇〇」あるいは「〇〇らっぽ」
⑥目指せ!〇〇〇ワンよりオンリーワン



新春特別企画 おとしだま クロスワードクイズ

クイズに答えて、プレゼントをもらおう!

応募方法
ハガキに、①クイズの答え②住所③氏名④年齢⑤「とちぎ県民だより」へのご意見・ご感想を記入の上、次のあて先までご応募ください。
締切は1月31日(土)消印有効。正解者の中から抽選で、特製クオカード(1,000円相当)を30名の方に差し上げます。なお、当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。
あて先
〒320-8501 栃木県広報課「とちぎ県民だより」係

県政トピックス ジュニア知事さんを表彰



「もし知事になったらどんなことをしてみたいか」という提案募集に、小学生951名から応募をいただきました。その中から15名がジュニア知事さんに選ばれ、12月18日に福田知事から表彰状が手渡されました。